



MMA戦績



芳賀ビラル海 Kai Bilal Haga

所属：MASTER JAPAN TOKYO

生年月日：1996年11月22日

出身地：愛知県豊橋市

身長：171cm

階級：ライト級(70.3kg)

構え：オーソドックス

バックボーン：日本拳法 三段

主な獲得タイトル：

第5代GRACHANライト級王座獲得(2025年)

アマチュアMMA全日本選手権ウェルター級 優勝(2021年)

「EXFIGHT02」MVP獲得(2021年)

日本拳法総合選手権大会 準優勝(2019年)

日本拳法総合選手権大会 4位(2018年)

日本拳法全日本体重別選手権中量級準優勝(2017年)

Instagram: [@bilal.inc](https://www.instagram.com/bilal.inc)

X(旧Twitter): [@bilal2inc](https://twitter.com/bilal2inc)

Profile

ガーナ人の父と日本人の母を持ち、朝倉兄弟や井上直樹など日本のトップファイターの出身地である愛知県・豊橋市に生まれる。幼少期から武道に親しみ、日本拳法に打ち込むと三段の段位を取得。学生時代には全国大会で中量級準優勝を果たすなど、高い実績を持っている。地元の高校を卒業後、上京し中央大学法学部に進学。法律を学びながらも格闘技への情熱を失うことなく、大学卒業後に本格的にMMAの道へ進む。プロ転向後はMASTER JAPAN TOKYOで実戦的な技術を磨いていく。22年2月のEXFIGHTでプロデビュー。初戦ではベテランの平山学と対戦し、惜しくも判定負けを喫したが、日本拳法独特の打撃と組み技を組み合わせたスタイルが注目される。その後、PANCRASEのネオブラッド・トーナメントで経験を積み、GRACHANに主戦場を移すと飛躍的な成長を遂げ、23年以降は5連勝を達成し、総合力の高さを証明する。25年5月に行われたGRACHAN74では、ライト級王者・林RICE陽太とのタイトルマッチに挑み、フルマークの判定勝利を収めて第5代GRACHANライト級王者の座に輝いた。日本拳法の技術をMMAに応用したファイトスタイルで“新世代MMAファイター”として注目されている。